

氏名	武原英樹
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3611号
学位授与の日付	平成13年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Intercellular Adhesion Molecule-1 in Patients with Idiopathic Interstitial Pneumonia (特発性間質性肺疾患におけるICAM-1の検討)
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 辻 孝夫 教授 清水 信義

学位論文内容の要旨

Intercellular adhesion molecule-1(ICAM-1)は血管内皮細胞をはじめとする様々な組織に発現し、白血球の血管内から血管外への遊走等に関わっているが、間質性肺疾患での役割については十分に解明されていない。

今回我々は胸腔鏡下肺生検にて診断された UIP、BOOP、NSIP の血清並びに気管支肺胞洗浄液中における ICAM-1 の可溶性部分である soluble ICAM-1 (sICAM-1)を ELISA 法にて測定するとともに生検肺組織中での ICAM-1 発現についても免疫組織染色法により検索し、ICAM-1 の役割と意義について検討した。

血清中の sICAM-1 は健常人に比べ UIP、NSIP において有意に高値を示した。BALF 中の sICAM-1 についても高値の傾向であり、更に血清中と BALF 中 sICAM-1 は有意に相関した。

生検肺組織の免疫染色による ICAM-1 発現の検討では UIP にてⅡ型肺胞上皮において強く染色された。

ICAM-1 は持続的線維性変化において重要な役割を担っていると考えられ、線維化進行を評価する上での有用なマーカーになりうると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、特発性間質性肺炎のうち、UIP, BOOP, NSIP の血清並びに気管支肺胞洗浄液中における soluble ICAM-1 (sICAM-1) を ELISA 法にて測定するとともに生検肺組織中での ICAM-1 発現についても免疫組織染色法により検索し、ICAM-1 の役割と意義について検討したものである。その結果、血清中の sICAM-1 は健常人に比べ UIP, NSIP において有意に上昇することが示された。ICAM-1 は持続的線維化において重要な役割を担っていると考えられた。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。